

# いきいき かぐらざか

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療情報誌



〈れんげ草〉

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会

## 肝がんについて

消化器内科部長 藤江 肇

肝癌は成因からいくつかに分類されますが、肝臓の大部分を占める肝実質細胞が癌化した肝細胞癌を通常は指します。

肝癌は、B型肝炎、C型肝炎、或いはアルコール性肝疾患などの慢性肝臓病を有する線維化のある(硬くなった)肝臓に発生しますが、線維化のない肝臓、言い換えると慢性肝臓病のない方に肝癌が発生することは極めて稀です。肝臓外来では肝臓病の治療を行う一方、慢性肝臓病の方に対しては肝癌を早期発見するための検査を定期的に行っています。肝癌は肝臓が硬い程(肝硬変に近い程)発生し易く、個々の肝臓の硬さを画像検査や血液検査で類推し、それに応じて検査間隔を設定します。例えば肝硬変の方には4ないし6ヵ月毎、それ程進行していない方ではそれよりも長い間隔で検査を行います。そうすることで小さく、かつ肝臓内に広がらない早期の状態での肝癌の診断が可能となり、十分な治療へとつながります。



ところが近年増加して問題なのは、定期通院していないアルコール性肝疾患(大酒家や元々飲めなかったのに無理して飲めるようになった人に多い)や、栄養摂取過多(過食)による脂肪肝を基盤とする肝癌です。前者は男性に多く、現役時代に職域健診で肝障害を指摘されて身に覚えがある筈ですが、後者は女性に多く病識が乏しい方が多いです。双方の要因を併せ持つ、過食と飲酒が原因の脂肪肝の方も多く、これも今後問題となると思われます。肝臓は「沈黙の臓器」ですので病気が進行するまで症状が出ません。定期検査を受けていないと肝癌が発見されたときには進行していることが少なくありません。

したがって、飲酒量の多い(多かった)方、酒をそこそこ多く飲む上に摂取カロリーも多く脂肪肝と言われている方、そして飲酒しなくても現在太っている(脂肪の多い)、またはかつて太っていた方は、肝臓が硬そうか否か、肝臓専門医の診察を受け、硬い徴候があれば定期検査を受けるのが賢明です。

当院では最上位機種のエコー検査と血液検査(腫瘍マーカー)とを組み合わせ、疑わしい徴候があればCT、MRI、または造影エコーによる精度の高い検査を追加して診断しています。治療は個々の病態に応じて、切除(外科)、経皮的ラジオ波焼灼術、カテーテルによる治療、または経口抗癌剤(分子標的薬)を日常的に行っています。

## 訪問看護ステーションのご紹介

雨二モ負ケズ風二モ負ケズ。アト台風・雷・雪二モ負ケズ

訪問看護ステーションなないろ 黒崎恵子

### ●『なないろ』訪問看護ステーションの誕生

訪問看護ステーションは、看護師によって起業が可能な施設です。看護職の起業として、助産所に次ぐものとなります。「なないろ」は、平成28年10月に始動しました。名前はお察しのとおり虹が由来です。地域包括ケアの担い手として、地域のかかりつけ医やケアマネジャー、ヘルパーなど地域の各関連事業所とみなさまの在宅療養の「良き橋渡し」となることを願って、そしてまたそれぞれのニーズに合わせて、多様性を備える必要性を感じて『なないろ』という名前にしたのです。

### ●『なないろ』の特徴

まだ、少人数で規模も小さく実施しています。それぞれの看護師は、訪問看護、がん、緩和の認定を持つ者、それ以外にも内科系、外科系のみならず、精神科の病棟で学んできた者もあり、経験豊富ゆえ、様々な状況に対応できると思います。また、私たちのステーションはバックベッドとなる病院を備えていることと、病院で導入されている電子カルテ端末を在宅の場でも使用できることが強みです。これにより、病院での豊富な診療歴に即座にアクセスできるばかりか、必要に応じての高度な医療、あるいは入院対応も提供できるからです。

### ●私たちの7つ道具

必ず携行する道具は体温計、血圧計、パルスオキシメータ（酸素飽和度を図る機器）、聴診器、グローブ、消毒、電子カルテの7つ、と思ったらもう少しありました。メジャーとノギス（ものさし）です。体調管理にはバイタルサインのほか、体重測定も重要ですが、在宅の場面では身体機能の低下もあり、体重計に乗れない方も多くいらっしゃいます。そんなとき私たちは、上腕径や皮下脂肪の厚みを図ることでこれを評価し、健康の維持を図るのです（あと、患者さまの状態を見抜く『目力』も、私たちの重要な道具です）。

### ●在宅のチカラ

80代後半の男性の例です。在宅での看護に向けて、入院中から関わってきたのですが、お話もほとんどせず、食事もとれなかったために、退院後はご自宅で脱水予防に皮下点滴の生活を送る予定となっていました。しかし自宅に帰られたとたんに意欲が上昇し、会話も活発になられ、それまで拒んでいた食事や入浴も受け入れるようになったのです。はたまたデイサービスでのリハビリにも希望されるなど、在宅という環境が人を元気にすることを思い知らされたものでした。

### ●退院支援から関わって

退院前の医師からの病状説明に立ち会うと、医師がわかりやすく丁寧に話していても、なお患者さま・ご家族に伝わっておらず、もったいないなと思われる時もあります。病院にいる時から、疾患だけでなく患者さまの人や生活をもっとみつめられたら、本当に求められているものがわかり、より良い医療が提供できるのではないかと思います。

●こういう人は『なないろ』へ

在宅医療は都会の方が向いていると思います。郊外・地方では同居する家族も多く、家族の介護力もあることは多いのですが、医師が足りません。新宿では独居する高齢者も多く需要がある中で、対応できる医師も多い実情があります。訪問看護では、30分なり1時間なり、訴えを傾聴する時間があります。その間にナースコールは鳴りません。忙しい病棟での看護とは違って、点滴をはじめとする処置もあまりありませんが、患者



さまと向き合うことができます。そのようなわけで、心の通い合う看護を提供することに興味がある方は、適性があると思います。当ステーションでは看護師20名体制を目標にしていますため、ご希望の方は、是非お声がけください。雨の日も風の日も不意な出勤を余儀なくされることもあります。ほかに在宅ならではの困難もありますが、必ずその先には充実という心の虹がかかりますよ。ぜひお待ちしております。

(かわら版編集委員会インタビューより)

「高額療養費限度額適用認定証」をご存知ですか

がん相談支援センターソーシャルワーカー 太田 英恵

がんの治療を受ける時、医療費が高額になるのではと心配になることはありませんか？

70歳未満の方は、1か月の医療費の一部負担金が一定額を超えた場合、超えた金額を申請すると「高額療養費」として受診後の3～4カ月後に支給されます。

さらに、事前に「限度額適用認定証」を取得し病院に提示しておくことで、医療機関窓口支払いを上限額までにとどめることができます。継続したご入院が必要な方、外来でも高額な治療を行っている方は、毎月の医療費の負担を軽減することができます。

高額療養費は、1か月ごと、1つの医療機関ごと、入院・外来ごと、医科・歯科ごとに別計算になります。

申請の窓口は、ご加入の各保険の窓口です。対象者の保険証や個人番号の確認書類、申請者の身元確認書類等申請に必要なものについては、各窓口にご確認ください。

限度額適用認定証は申請月の初日から対象になり、さかのぼっての申請はできません。なお、保険料の滞納がある場合は発行されませんのでご注意ください。

70歳以上の方も住民税非課税の場合は「限度額適用・標準負担額減額認定証」を取得することで、窓口の負担の軽減をすることができます。

《70歳以上の方》（平成29年1月1日現在）

		外来(個人毎)	外来・入院合わせた限度額
現役並み所得者		44,400 円	80,100 円 + {(医療費 - 267,000 円) × 1%} (4ヶ月目～ 44,400 円)
一般		12,000 円	44,400 円
低所得者 (住民税非課税世帯)	II	8,000 円	24,600 円
	I		15,000 円

《70歳未満の方》（平成29年1月1日現在）

所得区分		ひと月あたりの自己負担限度額	4ヶ月目～
ア	年収約 1,160 万円～の方 健保:標準報酬月額 83 万円以上の方 国保:年間所得(※1)901 万円超の方	252,600 円 +(医療費-842,000 円)×1%	140,100 円
イ	年収約 770～約 1,160 万円の方 健保:標準報酬月額 53 万円～79 万円の方 国保:年間所得 600 万円超 901 万円以下の方	167,400 円 +(医療費-558,000 円)×1%	93,000 円
ウ	年収約 370～約 770 万円の方 健保:標準報酬月額 28 万円～50 万円の方 国保:年間所得 210 万円超 600 万円以下の方	80,100 円 +(医療費-267,000 円)×1%	44,400 円
エ	～年収約 370 万円の方 健保:標準報酬月額 26 万円以下の方 国保:年間所得 210 万円以下の方	57,600 円	44,400 円
オ	住民税非課税の方	35,400 円	24,600 円

ご不明な点がございましたら、がん相談支援センター（本館1階、地域連携・総合相談センター内）または医事課にてご相談下さい。

## JCHO東京新宿メディカルセンターのご案内

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

JCHO東京新宿メディカルセンター

TEL 03-3269-8111 (代)



### 【診療科】36診療科

整形外科／脊椎病科／脊椎脊髄外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／神経内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／放射線診断科／放射線治療科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科



- JR総武線（中央線各駅停車）  
飯田橋駅東口 徒歩5分
- 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線  
飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分
- 都営大江戸線  
飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分  
\*当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。  
地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南北線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。
- バス  
・都営飯田橋駅前→小滝橋車庫（飯62）屋間だけの運行です。  
東京新宿メディカルセンター前 下車すぐ  
・小滝橋車庫前→九段下（飯64）  
飯田橋 下車 徒歩5分

発行：JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会